

鉄道と税

みなさんは、税について考えたことがありますか。

僕は、鉄道と税について考えました。

鉄道は、国民の足として、とても重要な交通機関です。しかし、最近では、地方のローカル線が、廃止の危機にあります。ローカル線が廃止の危機にある理由は、鉄道は、保線に莫大な費用を費やさなければならず、線路が海岸に沿っている場合は、その海岸の護岸も、鉄道会社に任されていて護岸にも、莫大な費用を費やさなければならないからです。

僕は、道路の整備には税金がたくさん使われるのに、保線や、線路に沿っている海岸の護岸には、税金があまり使われないのか不思議に思います。地方の交通が弱ると、その地域の活気がなくなってしまい、もっと、都会に人が集まってしまいます。JRは、元々国鉄で、国の鉄道だったので、国は、もっともっと税金を使い、鉄道会社を支援してほしいです。

最近では、ローカル線を守るために、交通税という制度を導入しようとしている県もあり、賛否が分かれています。交通税は、交通税を導入した地域の全員が、払わなくては行けないので、鉄道を使う人と使わない人で不公平なのではないかという意見も出ているそうです。

僕は、交通税について、導入すべきだと思います。理由は、鉄道は、とても重要な交通機関なので、皆で守っていかなければならないからです。なので、これから、交通税をさまざまな場所で導入してほしいですが、金額が高すぎると、家計が苦しくなるので、あまり金額を高くしないでほしいです。

僕は、ローカル線が廃線の危機にある理由は、他にもあるのかもしれないと思い、考えてみました。そして、利便性の悪さなのではないかと思いました。鉄道会社は、人手

不足で、列車の運行本数が減ってしまい、鉄道を利用しづらくなってしまって、利用客が減ってしまいます。こうして利用客が減ってしまった路線が、廃止の危機にあります。このように、人手不足が、廃止につながっています。なので、鉄道会社がたくさんの人を募集し、採用するために、国は、税金で鉄道会社を支援してほしいです。

このように、税金で鉄道会社を支える方法は、たくさんあるので、国は、これらの方法を実行し、鉄道会社を支援してほしいです。